

山口県流域下水道耐震化計画

山口県土木建築部都市計画課
策 定 令 和 7 年 1 月

1 目標

山口県の管理する周南流域下水道及び田布施川流域下水道では、災害に強く持続可能な上下水道システムの構築に向け、対策が必要な施設について、今後、概ね20年間で耐震化を完了することを目指し、このうち令和7年度から令和11年度の5年間では、被災すると極めて大きな影響を及ぼす処理場及び下水道管路を最優先に耐震化を実施することを目指す。

なお、流域下水道に接続する流域関連公共下水道における対策が必要な避難所等の重要施設に接続する上下水道管路等については、関連する公共下水道管理者が策定する計画と調整を行い、目標及び計画について考え方を統一している。

2 計画期間

令和7年4月～令和12年3月

3 下水道システムの急所施設の耐震化

(1) 下水処理場(揚水、沈殿、消毒機能に係る施設に限る)

	揚水施設		沈殿施設		消毒施設		揚水、沈殿、消毒機能に係る全ての施設	
	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数	2		1		2		2	
耐震性能確保済みの箇所数 (令和5年度末時点)	0	0	0	0	0	0	0	0
耐震性能確保の目標箇所数 (令和11年度末迄)	0	0	0	0	1	50	0	0

(2) 下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路

	管路延長(km)	耐震化率(%)
対象全延長	37.2	
耐震性能確保済みの延長(令和5年度末時点)	0※	0
耐震性能確保の目標延長(令和11年度末迄)	10.4※	27.9

※本計画策定時点では、下水道管路の耐震診断を実施していないため、耐震性能確保済みの延長は0としているが、今後実施する耐震診断の結果により、耐震性能確保済み延長及び目標延長を見直し予定。